

# 『笑顔のあげパンプロジェクト』

～日本中の子供に夢と希望を～

芦屋あげパン パイクとそら

## ●笑顔のあげパンプロジェクトの概要

レジカウンターに寄付箱を設置し、お客様から寄付を募っています。月に一度、寄付金を原資に100円につき1個のあげパンを作り、母子生活支援施設と自立援助ホームへ届けています。店頭で服の回収も行っており着用できる服も一緒に届けています。

## ●笑顔のあげパンプロジェクトを始めたきっかけ

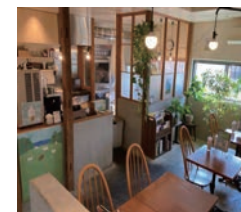
「子は社会の宝」地域に根差したお店だからこそ地域社会に少しでも貢献したくて日々思索していました。優しさが循環する素敵な社会を目指して、まずは一般家庭より少しだけ笑顔を作るのが難しい社会的養護施設にいる子供から笑顔にしたいと始めました。「子は社会の宝」社会の宝である子供が全員、笑顔ならその地域は幸福度が高い地域と考えております。



店頭の告知物



## 店舗紹介



芦屋あげパン「パイクとそら」は、絵本から生まれたあげパン屋さんをコンセプトにレトロ住宅をリノベーションし2019年2月1日にOPENしました。

## 活動の内容

毎月最終水曜日に...

- あげパンを140個と回収した服を母子生活支援施設と自立援助ホームへ届けています。
- 絵本講師の方と母子生活支援施設へ行き、絵本講師の方に絵本の読み聞かせをして頂いています。
- 当店近隣の木屋さんが毎月1冊の本を寄贈して下さいます。

## あげパン以外にもお届けしました ～施設からのリクエスト～

- 妊婦さんが緊急避難してきたので...  
ゆりかご、哺乳瓶、新生児用の肌着をお届けしました。
- 施設で修学旅行に行く子供がいるので...  
男女兼用できる3泊前後できるポストンバッグをお届けしました。
- 母子生活支援施設が小高い場所にあるので...  
電動自転車をお届けしました。

- ★春休み・夏休み・冬休みは施設の子供達をお店に招待して...  
あげパン、ソフトクリーム、ジュースの食べたい放題  
スーパーボールすくい、輪投げ大会、射的ゲームなどなど



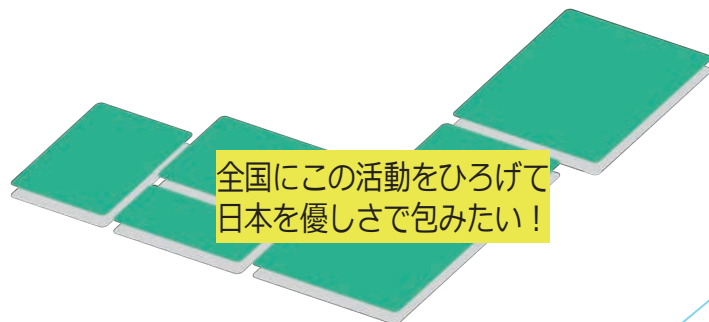
## 笑顔のあげパンプロジェクトで実現したい社会とは

【地域社会が地域の子供の笑顔を守る】←こんな社会を実現したいです。

「どうして子供の笑顔を守る必要があるの？」

なぜなら「子は社会の宝」だから。

全ての子供が笑顔の地域があったなら...きっとそこは天国だと思いませんか？



## 将来のビジョン (日本全国の子供達・若者達に夢と希望を与えます)

(現状は...)

- ・店頭販売とネット販売のみで営業しています。
  - ・従業員は土日アルバイトさん、平日は妻と運営しています。  
(2024年春の店舗改装をきっかけに...)
  - ・厨房スペースを拡張し、セントラルキッチン化をします。(生産数の増加)
  - ・社会的養護施設から高校卒の子供2名を社員採用します。(7月予定)  
夢と希望を与える職業だから沢山のお給料をお支払いする事を目指します。  
目標は百貨店業界の大卒初任給を目指します。
- ★改装した事、従業員を増強した事で販売チャネルの拡大が可能となります。



全国百貨店催事の進出、卸売り、ネット販売の強化を行います。  
百貨店催事を開催する際は「笑顔のあげパンプロジェクト」を実施します。  
催事開催百貨店から1番近い社会養護施設へあげパンを届けます。  
プレスリリースを行い「笑顔のあげパンプロジェクト」の周知に努めます。

## 最後に

『私は子供が大好きです。

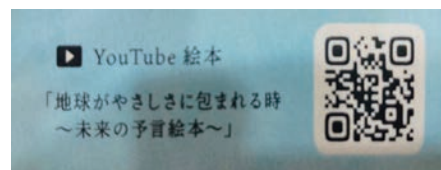
日本全国の子供達・若者達に夢と希望を与える事が私の目標です。

雇い入れた社会的養護施設の子供達と共に働き、共に喜び、共に人生を謳歌します。

そして当社の全てのステークホルダー（お客様、お取引先様、従業員）と共に笑い

幸せになります。

町の小さなあげパン屋の挑戦がこれから始まります！』



笑顔のあげパンプロジェクトが  
YouTube絵本になってます。  
是非、ご覧下さい。